

報告3.

デジタル版『渋沢栄一伝記資料』の概要

(公財)渋沢栄一記念財団
情報資源センター 井上さやか

竜門社130周年記念事業
デジタル版『渋沢栄一伝記資料』公開記念シンポジウム
2016年12月3日(土) 於)渋沢栄一記念財団

報告概要

1. 公開プロジェクトについて
2. 特徴
3. 利用にあたっての注意
4. 今後の課題と目標

1.公開プロジェクトについて

1-1. デジタル版『渋沢栄一伝記資料』とは

- ・ 2003年 実業史研究情報センター
（現 情報資源センター）誕生
センター設立の目的のひとつ：
渋沢敬三による「日本実業史博物館構想」を
現代的手法によって実現 →情報資源化
- ・ 2004年 『渋沢栄一伝記資料』デジタル化計画

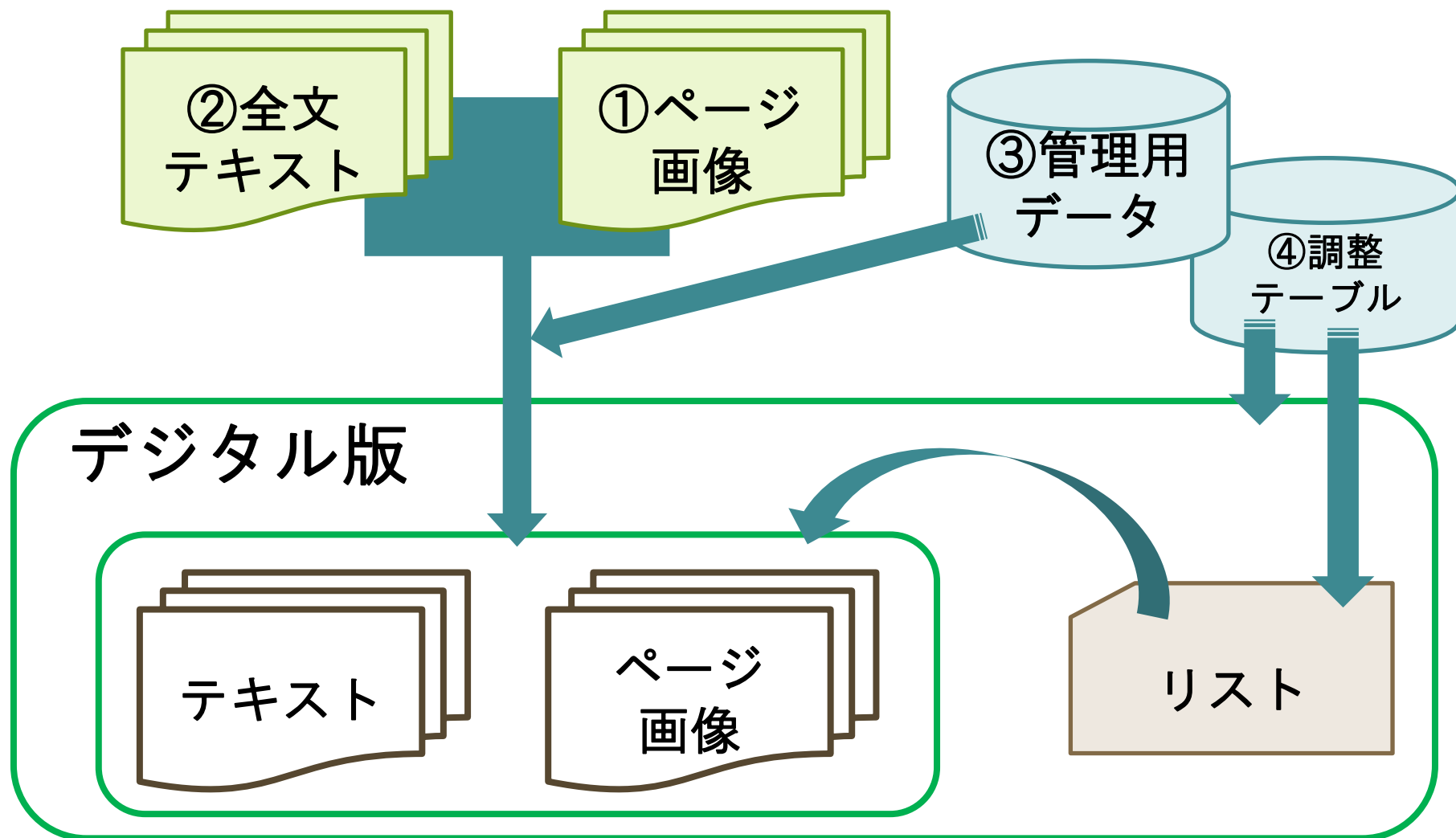
1.公開プロジェクトについて

1-2. プロジェクト年譜

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
画像													
目次・網文				公開						英訳			校正
全文テキスト化					校正								
簡易検索システム (財団イントラ内)													
データ管理 DB		個別				DB化			新DB				
関連コンテンツ構築								詳細年譜・事業一覧・ゆかりの地 等					
公開サイト構築						計画				実験 公開	構築 計画		公開

2. 特徴

2-1. 素材と構成



- ・ 冊子版（書籍）の構造をwebサイトに再構築

2.特徴

2-2. 構造・構築（本編）

A.見出し＝目次（年代順/事業別順）

.....11010000000

B.網文(1)
（出来事の要約文）

.....DK070001k

C.Bの証拠となる典拠資料①.....0001

C.Bの証拠となる典拠資料②.....0002

B.網文(2)
（出来事の要約文）

.....DK010002k

C.Bの証拠となる典拠資料①.....0001

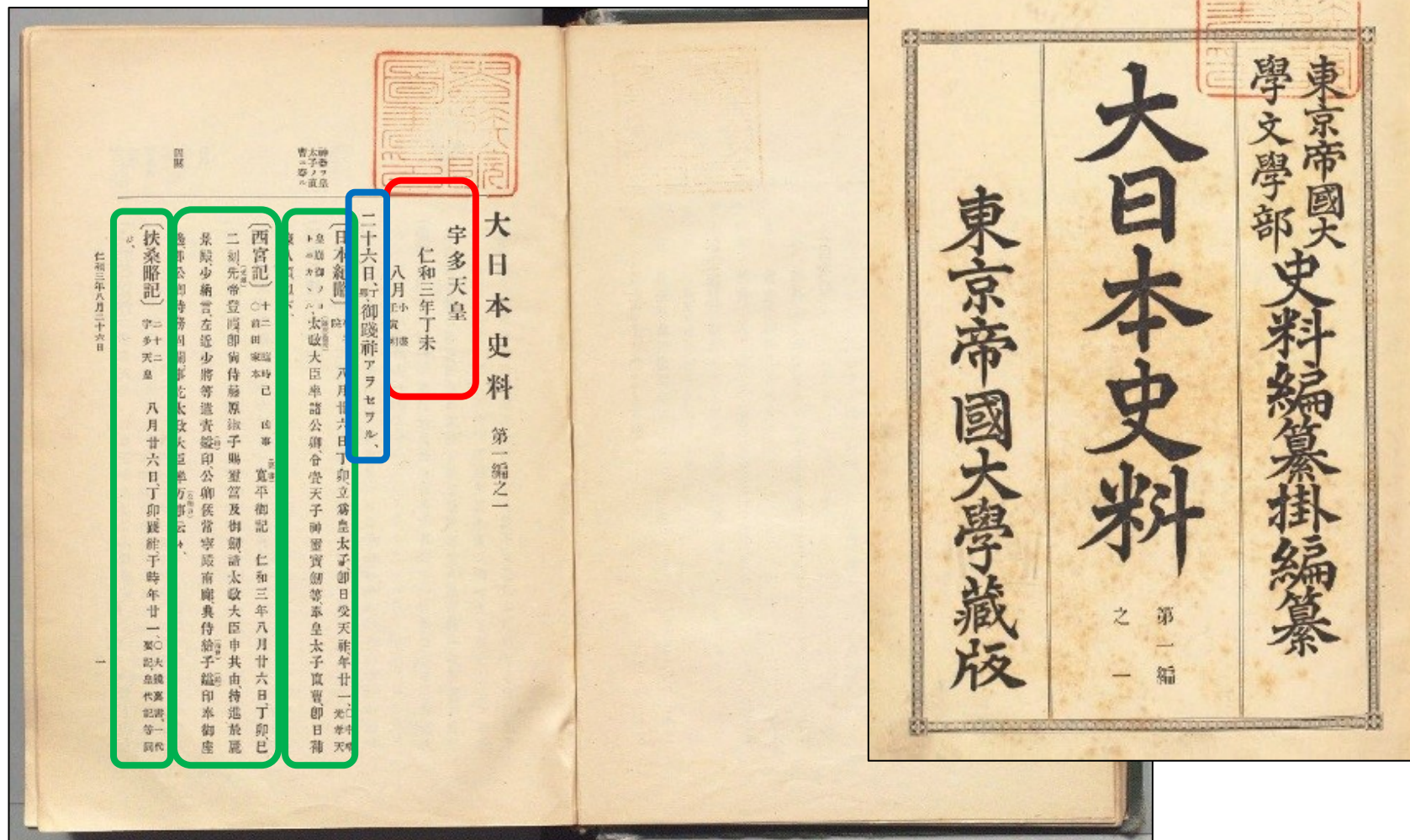
C.Bの証拠となる典拠資料②.....0002

デジタル版『渋沢栄一伝記資料』 伝記資料を検索 AND OR 検索 詳細検索へ >

TOP > 各巻リンク > 第1巻 目次【網文】 > 第1巻(DK010001k) 本文 凡例 更新履歴 このサイトについて

第1巻 (DK010001k) 資料リスト	第1巻 (DK010001k) 本文	次へ (DK010002k) >
公開日: 2016.11.11 / 最終更新日: 2016.11.11		
1編 在郷及び仕官時代		
1部 在郷時代		
1章 幼少年時代		
■ 網文		
第1巻 p.1-61 (DK010001k) ページ画像		
天保十一年庚子二月十三日（1840年）		
武蔵国横沢郡安部領血洗島村に生る。幼名市三郎又栄治郎、幼少時代ノ名兼美雄、後通称ヲ栄一郎名乗ヲ栄一ト改め、青淵ト号ス。仕官時代一時篤太夫、尋テ篤太郎ト称セシコトアリ。父ハ通称市郎右衛門、名兼美雅、晩香ト号ス。母ハエイ。家ハ世世農ヲ以テ本業トシ、傍ラ養蚕ト製藍トヲ兼ネ営ム。		
■ 資料		
渋沢栄一伝稿本 第一章・第一頁【大正八——二年】 第1巻 p.1 (DK010001k-0001) ページ画像		
渋沢栄一伝稿本 第一章・第一頁【大正八——二年】 青淵先生、氏は渋沢、名は栄一、青淵は其号なり。天保十一年二月十三日武蔵国横沢郡血洗島に生る。血洗島は関東平野、遠く利根川流域の一小村にして、いま大里郡八基村《オホサト》《ヤツモト》に属す。○下略 ○『渋沢栄一伝稿本』ハ大正八年ヨリ同十二年ニカケテ竜門社ニ於テ編纂セルモノニシテ、大正十二年九月ノ震災災ニ資料ノ大部分ヲ焼失セルタメニ中止ナル。上梓セラレタルハ第六章マデナリ。		
各巻リンク 第1巻 目次【網文】 第1巻 (DK010001k) 資料リスト ページTOP		
渋沢栄一伝稿本 第一章・第一四——一五頁【大正八——二年】 第1巻 p.1-2 (DK010001k-0002) ページ画像		
渋沢栄一伝稿本 第一章・第一四——一五頁【大正八——二年】 先生の名、幼少の時は市三郎といひ、又栄治郎と改め、実名を美雄とつけたるは十二才前後の事なりしが、後又伯父渋沢誠室の命名によりて栄一と改め、之を通称となせり。安政三年六月先生十七才の時、尾高藍番に就いて名乗を請ひしに、藍番「足下の通称栄一は好き字なり。孔子の言に、吾一以貫之といふことあり、一とは仁なり、仁とは諸の善行の統名なり、且名を以て通称するは古の礼なれば、栄一を名乗とし、字をば仁栄と曰はん。孟子に仁則栄、不仁則辱といへり、足下能く仁の一を栄せんと欲せば、百行爲すに足るものなけん」と、是より栄一を名乗とすること後まで渝ることなし。但し通称の時には栄一郎と称し、一橋家出仕の初まで之を用ゐたるが、出仕後平岡四郎改めて篤太夫と称せしむ。明治二年静岡藩に仕へし頃、太夫・衛門等の名を改むべき勅命ありしにより、再び改めて篤太郎の称を用ゐたり。幾もなく朝廷仕官の後、正式には源朝臣栄一といひ、ヒデカズと訓まれしが、後いつとはなく音訛して通称とせられしなり。号を青淵といへるは、血洗島の邸宅の後方に沼ありて、此辺の地名を淵上といへるに基けり。（少年の時の詩に淵上小屋と自署せり） 族籍は維新の初は静岡県士族なりしに、明治四年六月、東京に移住せし時、請ひて東京府平民に編入し、後華族に列せらる、これらの事		
- 第1巻 p.2 - ページ画像		
は後に委しく記すべし。		

2.特徴 (参考) 『大日本資料』



2.特徴

デジタル版『渋沢栄一伝記資料』

<https://eiichi.shibusawa.or.jp/denkishiryo/digital/main/>

まずは検索！

単語（フリーワード）検索

デジタル版『渋沢栄一伝記資料』内の全てのページから単語（フリーワード）を検索します。
2つ以上の単語で検索したい場合は、検索窓に入力スペースを入れてください。大文字小文字の区別はありません。

検索窓に「渋沢栄一」を入力し、AND検索 OR検索を選択。

検索対象の項目にチェックを入れてください。

【検索対象】

全項目をチェックする 全項目チェックを外す

※ 目次 [本文]
※ 利用資料リスト
※ 引用資料本文
※ 著作権者名別資料リスト

【絞り込み】

※ 主語チェックする ※ 主語チェックを外す

第1巻 在野及仕官時代（天保11年～明治6年）

1巻 2巻 3巻

第2巻 実業界発展期第二社会公共事業協力時代（明治6年～明治42年）

4巻 5巻 6巻 7巻 8巻 9巻 10巻 11巻
14巻 15巻 16巻 17巻 18巻 19巻 20巻 21巻
24巻 25巻 26巻 27巻 28巻 29巻

第3巻 社会公共事業発展期第二社会公共事業協力時代（明治42年～昭和6年）

30巻 31巻 32巻 33巻 34巻 35巻 36巻 37巻
40巻 41巻 42巻 43巻 44巻 45巻 46巻 47巻
50巻 51巻 52巻 53巻 54巻 55巻 56巻 57巻

ページ画像閲覧

本文テキスト

各巻リンク（『渋沢栄一伝記資料』の内容・構成）

編	部	章	巻	目次 [本文]	資料リスト	資料本文
第1編（天保11年～明治6年） 在野及仕官時代	第1部 在野時代	第1章 幼少年時代	1	目次	リスト	本文
		第2章 青年志士時代		目次	リスト	本文
	第2部 亡命及亡命後仕官時代	第1章 亡命及亡命後仕官時代		目次	リスト	本文
		第2章 幕府仕官時代		目次	リスト	本文
		第3章 経商仕官時代		目次	リスト	本文
	第1章 金融	第4章 経商仕官時代	2	目次	リスト	本文
		第5章 経商仕官時代	3	目次	リスト	本文
		第6章 経商仕官時代	4	目次	リスト	本文
		第7章 経商仕官時代	5	目次	リスト	本文
		第8章 経商仕官時代	6	目次	リスト	本文

各巻リンク

目次から

著作者名から

2.特徴

2-3. 検索システム

- ・ Wikiの検索機能をカスタマイズ
- ・ 横断的検索はページ単位で検索

①目次（綱文）

②資料リスト

③本文テキスト

④個人著作者名リスト

※その他のページは含めない

- ・ 検索対象は、①～④ページ内全テキスト

2.特徴

2-4. 運用

- ・ マスターデータ

管理用＝データベース形式、テキスト

本文テキスト＝xml形式テキスト

ページ画像＝マスターは別途保存

- ・ データ更新とセキュリティ

編集が容易なPukiWiki

校正データの更新が容易（プラグイン）

管理権限の強化

3.利用にあたっての注意

3-1. テキスト

- ・ 新旧文字の置換
書籍の再現性<検索性
旧字→新字に統一（澁澤→渋沢）
「調整テーブル」をデジタル版に組み込み

3-2. 図表（挿図含む）

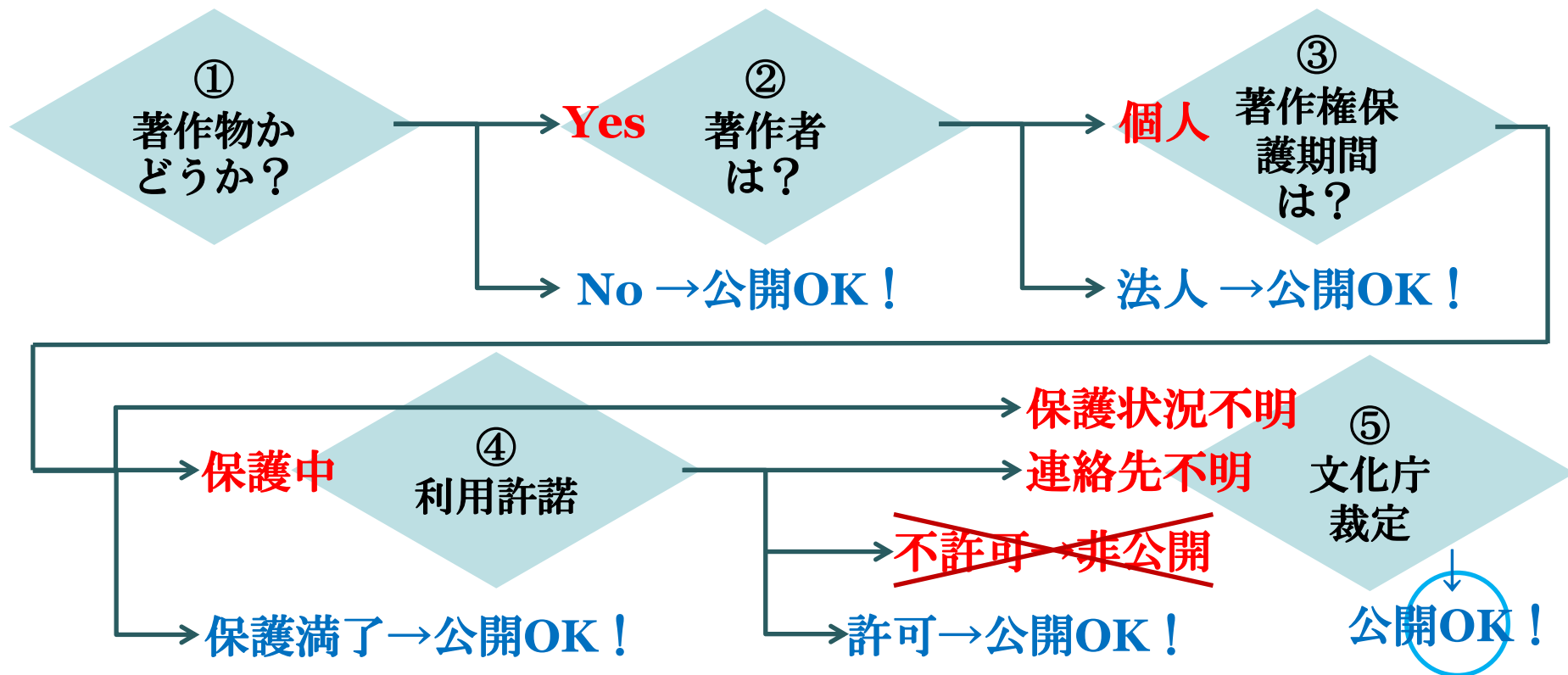
- ・ テキストのみ抽出
- ・ 旧マスターデータ：Word縦組形式

→ページ画像表示で、原表記を確認

3.利用にあたっての注意

3-3. 著作権 （発信国＝日本の著作権法に依拠）

- ・ 著作物の単位＝記事1件ずつ
- ・ 本編は1965年刊行終了



4. 今後の課題と目標

4-1. コンテンツの拡充・補完

① アクセシビリティ

- ・ 目次【綱文】の英訳
- ・ シソーラスあるいは辞書の構築
(人名・資料名・事業名)

② クオリティ＝品質

- ・ 資料調査
収録資料（稿本－原本）
収録外資料

③ サステナビリティ＝継続性

- ・ コンテンツのパーマリンクなど
- ・ デジタルリソースの保存

4. 今後の課題と目標

4-2. 標準化・連携

① 既存サイト公開中の関連コンテンツとの リンク、総合検索

- ・ 詳細年譜・渋沢社史データベース（SSD）

② メタデータの標準化など

- ・ マスターデータ（テキスト）：TEI化

③ ネットワーク化

- ・ 他機関DBや、アグリゲータへの加入・連携

4. 今後の課題と目標

これからの予定

- ・ 公開資料を増やす
- ・ 別巻（10巻分）の公開
- ・ 目次【綱文】の英訳公開

ご静聴ありがとうございました。